

**防災**

平成30年  
6月定例市議会  
議会だより Vol.56より

村木理英 質問 **ダムの緊急放流時、市民に対する周知はどうか**

市長答弁 **今後、市民に対する周知を強化する**

実現しました

QRコード  
動画で見る

**[要旨]**  
河川の氾濫の原因はダムの放流であり、非常に危険であるにもかかわらずダム周辺に設置してあるサイレンが鳴る程度である。放流時の市民への周知強化を管理している中国電力に強く申し入れるよう要望した。⇒市長、議長が中国電力に要請し、実施される。

**地域  
経済**

平成30年  
2月定例市議会  
議会だより Vol.55より

村木理英 質問 **吉備路マラソンのコース設定に問題はないか**

市長答弁 **安全が確保されていない**

今後も注視します！

QRコード  
動画で見る

**[要旨]**  
吉備路マラソンはスタート地点に時間通り到着できないランナーが続出するほど混雑し、慌てて無理な横断をしようするランナー、ボランティアからの苦情が殺到するうえ、複数のコースが交差し非常に危険なコース設定である。大幅な大会の見直しの必要がある。⇒根本的な解決に至っていない。

**高齢者  
まちづくり**

平成29年  
11月定例市議会  
議会だより Vol.54より

村木理英 質問 **観光資源から収入を得て里山保全に活用できないか**

市長答弁 **その考えは実にいい**

未解決！

YouTube  
詳しく解説  
QRコード

**[要旨]**  
解決しなければならぬのは中山間地域の住民高齢化による草刈り問題である。現行の予算内の配分変更では不十分であるため、観光地の駐車場の増設・有料化などの収入を里山保全に充てるべきであると提案。

**まち  
づくり**

平成29年  
8月定例市議会  
議会だより Vol.53より

村木理英 質問 **「認定こども園」の整備は場当たり的ではないか**

市長答弁 **周辺道路も含め地域一帯の抜本的な整備を行う**

**[要旨]**  
中央小学校区に新設した認定こども園周辺の道路が非常に狭あいである。朝のラッシュ時の混雑は、毎朝子どもたちが危険と隣り合わせになってしまっており、地域一体の抜本的な整備を要求した。⇒道路整備が施工され改善した。(写真)



**人生100年  
災害  
withコロナ**

乗る前に  
乗り越えるために  
克服するために

村木理英事務所 〒719-1156 岡山県総社市門田507  
TEL.0866-90-1001 E-mail post@muraki-riei.com  
ホームページ [村木理英](#) 検索



**村木理英 市政報告** 令和3年夏

**市議会での一般質問を振り返って**

市議会は総社市の意思決定を担う役割や、市の行政を監視する役割があり、市民の皆さまのお声を行政に反映させていくための場です。

総社市門田507 TEL:0866-90-1001 URL <http://www.muraki-riei.com> <http://www.facebook.com/rieimuraki>

**令和3年6月定例市議会 一般質問にて**

**CO<sub>2</sub>濃度測定器市役所窓口に設置を明言!!**



**市民への周知**

◆湿度40~60%  
CO<sub>2</sub>濃度800ppm以下の徹底

YouTube  
詳しく解説  
QRコード



◆ワクチン接種開始、  
引き続き感染予防を!!  
→5人以上の集落は作らない!!

YouTube  
詳しく解説  
QRコード

**村木理英の活動をぜひご覧ください!**



YouTubeチャンネル  
村木理英の見える化チャンネル 検索



**村木理英.com**  
Muraki Riei Official Site  
<http://muraki-riei.com/>



**Facebook**  
<https://www.facebook.com/rieimuraki/>

**新型コロナウイルス  
(感染予防)**



村木理英 質問 **新型コロナワクチン接種順位について  
国の方針に従わないのか**

市長答弁 5月以降でワクチン数が確保できれば従う

【要旨】  
国の指針では①医療従事者等②高齢者③以下省略となっており、これはワクチン接種時の感染予防対策としてとても重要であると考える。市の順位はそれに従っていない状況を正した。

動画で見る

令和3年  
2月定例市議会  
議会だより Vol.61より

**高齢者**

村木理英 質問 **部活動の元指導者の再任用の考え方はどうか**

市長答弁 雇用制度を構築すべきと考える

【要旨】  
現状では人材(定年退職者)が市外へ流出している。これは大きな損失である。早急に制度を構築することが高齢者雇用拡大ならび優秀な人材の確保につながる。

動画で見る

令和元年  
11月定例市議会  
議会だより Vol.61より

**新型コロナウイルス  
(感染予防)**



村木理英 質問 **新型コロナの感染リスク軽減策をなぜ発信しないのか**

市長答弁 裏付けと共に市民に発信していく 今後も  
注視する重要課題!

【要旨】  
感染リスク軽減等の具体的発信ができていない。特に人が集まる機会が増える時期、より具体的に、より強く、直接市民に向けて発信すべきと指摘した。  
新型コロナウイルスの感染症リスクを下げるための提案  
・湿度を40%~60%に CO<sub>2</sub>濃度800ppm以下  
・頻繁に消毒をする、喋る時はマスクをつける  
・免疫力が下がるときに要注意 トトイレのふたを閉めて流す

YouTube 詳しく解説 動画で見る

令和2年  
11月定例市議会  
議会だより Vol.65より

**まちづくり**

村木理英 質問 **市役所周辺の一体的な整備計画の考え方はどうか**

市長答弁 今後考えていく

【要旨】  
市役所建て替えの議論が市庁舎のみにとどまっている。市民会館・図書館・総合文化センター(中央公民館)・勤労青少年ホームは耐震化の課題もある。川崎公園も含めて一体的に整備する考えが必要であり、具体的にイラスト等で示し、市民に将来についての夢を持つもらるべきである。

動画で見る

令和元年  
8月定例市議会  
議会だより Vol.60より

**まちづくり**

村木理英 質問 **新庁舎はどのようなコンセプトで建設するのか**

市長答弁 市民に寄り添い、「総社らしい」庁舎にしたい

【要旨】  
現状の計画では材料や外観にとらわれすぎである。AIなどの導入で高齢化により低下している町内会機能など社会的問題を克服できるようにすべきと考える。

令和2年  
8月定例市議会  
議会だより Vol.64より

**地域経済**

村木理英 質問 **高校生と小規模事業所マッチング事業の実施はどうか**

市長答弁 実施が必要と考える

【要旨】  
総社市の小規模事業所110社の新卒採用実績は半数以下で有効求人倍率は2倍以上。地元高校生が進路を決めるタイミングで地元事業所とマッチングを図り、就職後のミスマッチの防止、まちの財産であるノウハウの継承やリターンを促進するよう提案。

動画で見る

令和元年  
5月定例市議会  
議会だより Vol.59より

**新型コロナウイルス  
(景気対策)**



村木理英 質問 **軽自動車税(市税)還付の考え方はないか**

市長答弁 新型コロナウイルス支援策の一つとして考える

【要旨】  
軽自動車は総社市の世帯数とほぼ同数に近い登録があり(ページ上部イメージ写真)、かつ、軽自動車生産はウイングバレイ擁する当市にも関連性が非常に高い。そのことから還付をし、経済支援策をすべきと考える。

世帯数	28,445世帯 (令和2年5月末日現在)
軽自動車登録台数	27,018台 (平成29年4月1日現在)

動画で見る

令和2年  
6月定例市議会  
議会だより Vol.63より

**防災**

村木理英 質問 **市独自の防災士認定制度を創設する考え方はないか**

市長答弁 防災士を増やし独自の制度を創設すべきと考える

【要旨】  
日本防災士機構により認証された防災士の制度がある。災害時の避難所運営のために、総社市内の地域性にマッチした防災士制度を創設し、災害に備えることがさらに重要である。

動画で見る

平成31年  
2月定例市議会  
議会だより Vol.58より

**防災**

村木理英 質問 **地元業者を参画させた公有財産活用の考え方はないか**

市長答弁 可能であると考える。  
活用できるものは活用する

【要旨】  
合併特例債制度終了後、新しい予算制度を活用すべきである。井尻野幼稚園跡地(写真)は官民連携事業(PPP)で地元住民が要望の防災拠点施設をつくれないか。  
・PPPとはPublic Private Partnershipの略で行政と民間が連携してそれぞれお互いの強みを生かすことで最適な公共サービスの提供を実現するもの

2019年署名提出済

動画で見る

令和2年  
2月定例市議会  
議会だより Vol.62より

**高齢者**

村木理英 質問 **景観の維持管理体制についての考え方はどうか**

市長答弁 現状をふまえて制度の見直しをする 未解決!

【要旨】  
街路樹の維持に年間1200万円要している。現行の街路樹は歩道を狭くし、枝が電柱にからむものもあり、安全・景観・費用面で取り除くべきと考える。その予算を高齢化により作業が困難になっている周辺地域の雑草処理に充てるべきと考える。

動画で見る

平成30年  
11月定例市議会  
議会だより Vol.57より